

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成29年11月14日(火) 13:30～

場所 白石市役所 3階 第3会議室

1. 白石市建設職組合青年部による奉仕活動への寄付受納書贈呈式
2. 「災害時等における福祉車両等提供に関する協定」の締結について
3. その他

白石市建設職組合青年部による奉仕作業への寄付受納書贈呈式
(市内6保育園及び2児童館の各種修繕、材料の寄附)

担当：保健福祉部子ども家庭課

■概要

白石市建設職組合青年部の皆様には、昭和53年から、公立9保育園、第一・第二児童館の施設修繕等の奉仕作業を始めて頂き、以来、現在は公立6保育園及び2児童館の奉仕作業を毎年続けていただき、今年で39年目になります。

奉仕作業を行うにあたり、白石市建設職組合青年部の皆様が事前に各保育園、児童館を訪問し、修繕等の希望や場所を確認のうえ、作業は園等が休みの休日に行っております。今年は10月15日(日)に行いました。※奉仕作業は別紙のとおり

修繕したところは、プロならではの技術が仕上がりに表れ、職員はもちろん子どもたちからもドアや扉の開け閉めも大変スムーズになった等の感謝の声が寄せられています。

白石市建設職組合青年部の皆様には、子どもたちが安全に楽しく過ごすことができる環境整備に、永きに渡り多大なるご尽力をいただいております。

■参考

白石市建設職組合について

- ・組合員数388人、うち青年部113人(H29.9.30現在)
- ・奉仕活動は昭和53年(宮城県沖地震が契機)から始まり、今回で39年目。
- ・夏休みに、中央公民館で「親子木工教室」を無料で開催し、100組の親子が巣箱や本箱作りを行っている。
- ・市民春まつりでは、御輿を担いで市内を練り歩き、餅まきでまつりを盛り上げている。
- ・全日本こけしコンクールでは、5月5日に「木とのふれあいコーナー」を出展し、親子で楽しむことができる木工体験を企画し実施した。
- ・平成28年11月4日、大規模災害時における海老名市と小原・鎌先温泉旅館組合及び白石市建設職組合と協定締結。
(白石市との「災害時における緊急支援活動の協力に関する協定」は、平成19年10月17日締結済)

平成29年度 白石市建設職組合青年部奉仕作業

1. 材料費、制作及び修繕は、白石市建設職組合青年部負担

	施設名	作業内容
1	南保育園	未満児保育室入り口 柵の鍵交換（3箇所） 保育室入り口 ドアストッパー修理・取付（5箇所） オープンドアストッパー修理 一時保育室電話線カバー止め作業 北側門修理 サッシ窓開閉取手修理
2	北保育園	網戸張り替え（5箇所） 事務室薬品棚の転倒防止設置 遊戯室物入れの修繕 かばん掛け用腰板の設置、金具取付
3	越河保育園	渡り板作成2枚 渡り板補修1枚
4	深谷保育園	保育室網戸張り替え・戸車の交換 給食室網戸張り替え 遊具（平均台）の修繕 保育室の手洗い場の張り替え 給食室整理棚の蝶番、付け替え
5	白川保育園	外壁（破損のため）の撤去 ホール入り口戸車交換
6	大鷹沢保育園	未満児保育室入り口柵の鍵修繕 天井板の浮き箇所の修繕 鏡の移設（事務所）
7	第一児童館	教材室出入口のドア調整 集会室引き違い戸の戸車調整 階段飛び出し防止ネット用枠の修繕
8	第二児童館	別館廊下にコート掛け設置
計 8施設		

11月14日定例記者会見資料

「災害時等における福祉車両等の提供に関する協定」の締結について

担当：総務部危機管理課

1. 締結の趣旨

本協定は、株式会社 大正自動車様からご提案いただいたものであり、災害発生時または災害発生の恐れがある場合に、介護保険施設等において利用者が避難する際の搬送用車両が不足した場合、市からの要請により、福祉車両等を協力いただけるものです。

これにより、災害時の避難所への円滑な移送のための手段が確保され、避難行動要支援者への支援対策の強化が図られますとともに、当市の危機管理対策として非常に有益であると考えられます。

2. 協力内容

- ・福祉車両等の提供協力

3. 締結相手方

- ・株式会社 大正自動車 代表取締役社長 遠藤 晃 様
(出席者 常務取締役 遠藤 直秀 氏)

(参考)

本内容の協定締結は宮城県内で初となる。